

Press Release



2017年9月22日

コベストロジャパン株式会社

このプレスリリースは9月11日にドイツ・コベストロ社が発表したものを日本語に翻訳したもので、報道関係者各位へ参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。原文は www.covestro.com をご参照ください。

Technology Review 誌のグローバルランキング

コベストロ、最も革新的な企業 50 社に選出

- アニリン生産の持続可能な新プロセスが高評価
- 重要な化学品の生産に原油の代替として植物を使用

ドイツ・レバクーゼン、2017年9月11日ー

コベストロは、*Technology Review* 誌による2017年の最も革新的な企業50社に選出されました。著名なマサチューセッツ工科大学（MIT）が発行する科学技術誌のドイツ語版において、コベストロの持続可能な生産プロセスが、「革新的なアイデアと先駆的な開発」を評価するグローバルランキングに選定され、ベルリンで開催された祝賀会で選出された企業50社が発表されました。

コベストロは、植物由来の原料を使用して化学産業やコベストロの生産プロセスにおいて重要な化合物であるアニリンの生産に成功しました。これにより、一般的に原料として使用されている石油を節減することができます。ランキング上位50社には、新興企業だけでなく、アマゾン、アルファベット（Google）、メルク、ダイムラーなどの多国籍企業も含まれています。

原料の選択肢がより広範に



「Technology Review 誌に当社の功績が認められたことを嬉しく思います。このような評価を受けたことは、当社のイノベーションに対する能力の高さが改めて実証されたこととなります。再生可能な原料を使用してアニリンを生産できたことは、化学産業とプラスチック産業が希少な化石原料や市場の変動に左右されなくなるための重要なステップです。これは、“世界を明るくより良い場所に”というコベストロのビジョンをどのように達成するかを示す一例です」とイノベーション、マーケティング、セールスの担当役員で、コベストロのチーフ・コマーシャル・オフィサーであるマーカス・スタイレマンは述べています。

コベストロは、パートナーであるシュツットガルト大学、RWTH アーヘン工科大学の CAT 触媒センターやバイエル社と連携して全く新しい生産プロセスを開発し、研究室でその実現可能性を確認しました。この方法で生産されたアニリンの中の炭素は 100%バイオマス由来です。このプロセスは現在、さらに技術的に規模の大きい生産施設に引き継がれています。最終目標は、産業規模でバイオ由来のアニリンを生産することです。それが実現すれば、産業界で前例のない成果となるでしょう。

コベストロ社について

コベストロ社は 2016 年度売上高が 119 億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、電気/電子、建築、スポーツ・レジャーの各産業です。コベストロ社（旧バイエル マテリアルサイエンス）は、世界中の 30 拠点に生産施設があり、社員数は 2016 年末で約 15,600 人（正社員）です。詳しくはこちらをご覧ください。 covestro.jp

【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-7-6 クロスプレイス浜松町 7F

広報部 Tel:03-6403-9112 / Fax:03-3436-1540

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、コベストロ社による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれている可能性があります。さまざまな既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト (www.covestro.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。